

サンドスタチン®で治療される患者さんへ

# サンドスタチン®皮下注用を 安全に ご使用いただくために

## 正しい自己注射の方法

この冊子では、サンドスタチン®皮下注用の自己注射に必要なもの、準備すること、注射の方法、気をつけていただきたい副作用、また保存方法や廃棄方法などについてもご紹介しています。

自己注射をはじめられる前に、ぜひお読みいただき参考にしてください。

なお、サンドスタチン®を注射される場合は、主治医の指導を受け、指示を守ってください。

注射に関する指示や注意については、必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。

病院名：

主治医：

電話番号：

ノバルティス ファーマ株式会社

## 冊子の内容

はじめに .....	3
あなたの投与量・投与回数 .....	4
自己注射に必要なもの .....	5
注射の準備 その1・器具の準備 .....	6
注射の準備 その2・注射液の吸引 .....	8
注射の方法 .....	10
注射の後に注意すること .....	12
廃棄方法について .....	13
注射についての Q&A .....	14
MEMO .....	15

## はじめに

**自己注射に不安のある方でも  
正しい注射の方法をマスターすれば  
自宅で自分の生活を維持しながら  
安全な治療が可能になります。**

サンドスタチン®皮下注用は過剰に分泌されたホルモンの働きを抑え、それらによる諸症状を改善するお薬です。

在宅での自己注射が可能で、注射のために入院したり頻繁に通院する必要がありません。

「注射で治療するのに抵抗がある」「自分で注射をする自信がない」という方もいらっしゃるかもしれませんが、注射の方法は決して難しいものではありません。

正しい注射の方法をマスターすれば、ご自宅で、ご自分の生活を維持しながら、安全な治療を続けることができます。

※ サンドスタチン®皮下注用の投与量や投与回数は、患者さまごとに異なります。主治医の指示にしたがってください。

# あなたの 投与量・投与回数

サンドスタチン®皮下注用の投与量と1日の投与回数は、患者さまごとに異なります。

主治医が、適した濃度のものを処方しますので、指示された投与量と回数を守ってください。

月 日	μg	1日	回
月 日	μg	1日	回
月 日	μg	1日	回
月 日	μg	1日	回



注意!

治療の途中で、投与量や投与回数に変更される場合があります。病院を受診する際には、その都度主治医に確認しましょう。

# 自己注射に 必要なもの

## サンドスタチン® 皮下注用

アンプルに入った1mLの製剤で、濃度の異なる2つの種類があります。ラベルの上部に赤色のラインがあるものが50μg、青色のラインのあるものが100μgの注射液です。



## 注射器

注射器はおもに2つの種類があります。注射器に針を取り付ける「取り付け型注射器」と、すでに注射器に針が付いている「一体型注射器」です。



※詳しくは医師・看護師におたずねください。



注意!

サンドスタチン®皮下注用のアンプルは、冷蔵庫で保管してください。ただし、冷凍庫やチルド室には入れないでください。

# 注射の準備

## [その1・器具の準備]

### 1 室温に戻す

サンドスタチン®皮下注用は、冷たいまま投与すると痛みを感じる場合があります。このため投与する30分ほど前に冷蔵庫から取り出してください。室温に戻しておいたものを使用すれば痛みは少なくなります。

### 2 手を洗う

注射の直前に手を洗います。石けんを使ってしっかり洗ってください。



### 3 注射に必要な器具を準備する

準備するものは、サンドスタチン®皮下注用、注射器、消毒用のアルコール綿です。



注意!

使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

### 消毒用アルコール綿の作り方

カット綿に、消毒用エタノールをしみ込ませて作ります。

- ① 金属製またはガラス製容器を15分間煮沸消毒し、その中にカット綿を入れます。
- ② 上から消毒用エタノールを注ぎ、カット綿全体にエタノールを十分しみ込ませます。



消毒用エタノールの適量は、カット綿をかるくしぼり、エタノールが少し落ちる位が目安です。

※金属製やガラス製以外に、耐熱用プラスチック容器なども、同様に15分間煮沸消毒すれば使用できます。

※開封してすぐに使える袋入りのアルコール綿も利用できます。

# 注射の準備

## [その2・注射液の吸引]

### 1 溜まっている注射液を落とす

アンプルをカットする前に、アンプルの首の上部に注射液が溜まっていないかを確認してください。溜まっている場合には、その部分の側面を指で軽くはじいて、注射液を落として下部に集めてください。



### 2 アンプルをカットする



カットする首の部分をアルコール綿で拭いてください。



丸印を手前に向け、下側をしっかりと持ち、もう一方の手でアンプルの上部を向こう側に軽く倒してカットします。

### 3 注射液を注射器で吸引する

5ページでご紹介したように、注射器にはおもに2つの種類があります。

#### 取り付け型注射器の場合

針が長いことが多いので、アンプルを平らな所に置き、下側をしっかりと持ち、針を垂直に入れます。そして内筒を引き、注射液を吸い取ります。



注射液が残り少なくなったら、アンプルを斜めにして、残った液を吸引してください。



#### 一体型注射器の場合

針が短いことが多いので、アンプルをあらかじめ斜めにして、針を入れ、注射液を吸い取ります。



注意!

一体型注射器の場合は、内筒がかたく引きにくいことがあります。吸引がスムーズに行えるよう、あらかじめ内筒を引いて動きを滑らかにしておいてください。

### 4 注射器内の空気を抜く

注射液を吸い取っている操作中、注射器の中に空気が入ることがあります。注射する前に、針を上に向け、注射器を指で軽くはじいてください。中の空気が上に集まりますので、ゆっくり内筒を押し上げ、針先から中の空気を押し出します。

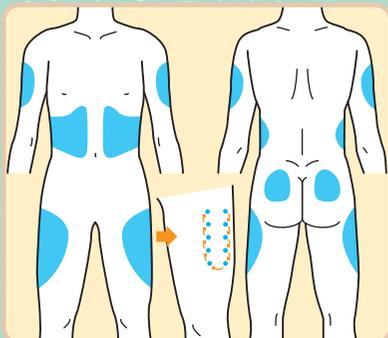


これで注射の準備は完了です

# 注射の方法

## 1 注射をするところ(部位)を決める

注射は、太ももの上面、上腕の外側、腹部、臀部(おしり)などに注射します。



新生児、乳児の場合、臀部(おしり)上外側又は大腿(太もも)外側が投与しやすい。おむつを使用している場合、おむつの中で便で汚れやすいところ(臀部(おしり)下部、大腿(太もも)内側など)は、避けること。

注意!

同じ部位にばかり注射を続けると、皮膚が硬くなる場合がありますので、注射する部位を毎回変えてください。

## 2 注射部位を消毒する

注射する部位をアルコール綿で2、3回ていねいに拭いてください。



## 3 注射する

サンドスタチン®皮下注用は、「皮下投与」といって、皮膚の下にある皮下組織に針を刺して注射液を注入します。そのため、針の長さによって、刺し方が異なります。

### 注射針が長い場合

親指と人差し指で注射する部位の皮膚をつまみ、約30~60度の角度で刺します。



### 注射針が短い場合

親指と人差し指で注射する部位の皮膚をつまみ、垂直に刺します。針を刺したときに激しい痛みを感じた場合には、あわてずに針を抜いて、違う部位に注射をしてください。



注意!

針を刺したら内筒をわずかに引いて、血液の逆流がないことを確認します。もし逆流があった場合でも、あわてずに針を抜いて、違う部位に注射をしてください。

## 4 アルコール綿で押さえる

注射が終わったら針を抜き、注射液が皮膚の穴から漏れないように、アルコール綿で2~3分軽く押さええます。このとき、注射部位をもまないでください。



# 注射の後に 注意すること

## すぐに主治医に連絡を！

次のような症状に気づいたら、すぐに主治医に連絡してください。

ふらふら感、意識がうすれる、呼吸をしにくい、息をするとき  
のどがヒューヒュー鳴る、発疹、じん麻疹が出る、手足がむくむ、  
冷や汗、口や目のまわりがはれる、脈拍数がいつもより少ない  
(1分間に50拍以下)、めまいがする。

## 早めに主治医に相談を！

次のような症状に気づいたら、早めに主治医に相談してください。

右肋骨の下が痛む、熱が出る、皮膚がかゆい、皮膚が赤くなる、  
吐き気、嘔吐、のどがよく渇く、尿が多く出る、疲れやすい、  
息が切れる、体重が減る、注射部位が痛む、注射部位にしこり  
ができる、尿に血が混じる、腰が痛い。

# 廃棄方法について

注射が終わったら、下記のもので廃棄物となります。

## 捨てるもの

使用済みのアンプル

使用済みの注射器・針



## 捨てる方

主治医の指示にしたがってください。  
病院などでまとめて廃棄する場合には、ペットボトルや  
空き瓶などに入れておき、小児の手が届かないところに  
保管しておきましょう。



# 注射についてのQ&A

## MEMO

Q 体調が悪いときでも注射してよいのでしょうか。

A 軽い風邪などで体調を崩したときでも、注射をして差し障りはありませんが、症状がひどかったり、つらかったりする場合は、主治医にご相談ください。

Q 旅行に行きたいのですが、その際、室温で保管していてもよいのでしょうか。

A サンドスタチン®皮下注用は直射日光を避けて保管してください。また、2週間以内であれば室温で保管しても品質に大きな問題はありませんが、できる限り速やかに冷蔵庫などで保管をお願いします。

自己注射は、慣れるまでには少し時間がかかるかもしれませんが、**けっして難しいものではありません。**

**正しい自己注射ができれば、皆様にとって負担の少ない、安全な治療が可能となります。**定期的に診察を受け、主治医の指示をよく守り、正しい自己注射を心がけてください。

MEMO area with a dotted grid pattern for taking notes.